

一般質問

乾議員

人口の減少  
—小学校の視点から—

Q 質問

全国的に人口減少が続いている。当市の小学校児童数も驚くほど減少している。先ずは、子どもたちの教育環境を良くすることが一番大切。国の小中一貫校への制度改革が進む中、小学校の再編は時代の流れでもある。しかし、地域にとって小学校が無くなることはとても寂しく、その影響は大きい。現時点では、どのように考えているのか。

A 答弁

学校再編については、まず中学校を再編し、その空き校舎を活用して小学校の再編を進めるという考え方で臨んできており、その際には、地域の意向を最大限尊重して取り組むとの基本姿勢を示している。現時点においても、その方針については変更していない。ただ、3つの複式小学校については、中学校の再編を待たなくとも、物理的に最寄りの小学校との統合が可能であり、地域の意向により再編を進めることができる旨を、保護者の皆さんには説明してきているところである。

その他の質問  
・観光産業振興の取り組みについて  
・防災について  
①つり天井落下防止 ②エレベーターの緊急停止への対応

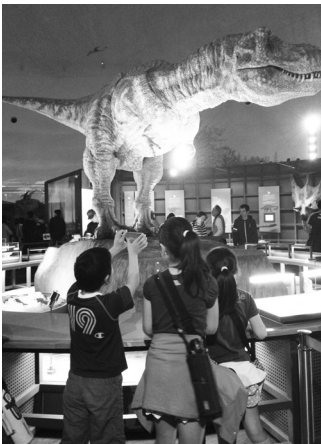
夏休み期間中の恐竜博物館の夜間開館について

Q 質問

恐竜博物館の入館者が増加している。更なる混雑の解消や、炎天下の中、遠方よりお越しのお子さん連れが、列をなして1時間も立って並ぶ光景は誠に気の毒で忍びない。一考すべき。時間延長して、夜の涼しい時間帯に、ゆっくり見学できるサービスの提供ができるよう、是非、県の理解と協力によって実現できるよう努力願いたい。如何か。

A 答弁

来館者へのサービス向上の観点から、恐竜博物館の開館時間を、まずは夏休み期間中の繁忙時に事前開館や延長開館などを実施していただけないか、福井県庁ならびに恐竜博物館との定期的な打合せの中で、協議していきたいと考えている。



恐竜博物館

帰山議員

長尾山総合公園および恐竜博物館の展開について

Q 質問

今後の来園者の確保に向け、「かつやま恐竜の森」の施設等の展開方針を問う。

A 答弁

市では、昨年度から公園内の駐車場不足対策として新たな駐車場の整備を本格的に進めているが、現状の混雑状況の緩和、将来の来館者増を見越した長期的な駐車場対策、トイレの増設などが必要なことから、現在、福井県の支援を視野に入れながら長尾山総合公園の再整備を庁内で検討している。「かつやま恐竜の森」の再整備については、市議会との協議を重ねながら、駐車場対策等や恐竜遊具など現状の公園機能をさらに充実していくとともに、恐竜をテーマとしたアミューズメント機能、体験機能などのノウハウと意欲を持った民間事業者の誘致についても積極的に検討していきたいと考えている。

国民健康保険税等の値上  
等に関する周知について

Q 質問

市は値上等に対し、十分な説明をすべきと考えるが必要性をどうとらえているか、ま

A 答弁

国民健康保険税の税率については、今年度4月に改定させていただき、市広報4月号と6月号にて市民の方々への周知を図っている。また、4月より、消費者センターによる「出前講座」に同行し、税率が本年度改定されたこと、今回の改定の理由が、全国的な後期高齢者支援金額及び介護納付金額の増加に起因していることを説明している。

高齢化の進行による医療費と介護費用の増加を抑制するためには、市民の方々の協力が不可欠となる。今後、更なる周知のため、国民健康保険被保険者の方が集まる特定健診の会場なども利用し、国民健康保険税の改定理由や医療保険制度について、周知していく。

その他の質問  
・防災行政無線の現在の状況と伝達手段について

た現状と今後の対応を問う。



かつやま恐竜の森